

利点

- プレビューやクリップ選択、調査、承認用に低解像度メディアに素早く簡単アクセス
- ベースバンド、トランスポートストリーム、FTP等あらゆるタイプのインジェストを対象にプロキシを自動生成
- ショット選択やEDL作成機能で制作システムと簡単連携
- Harmonic Media Services FrameworkウェブサービスAPIによる統合
- Harmonic Media Application Server (MAS)上で構築されており、ProXploreやProXchangeと密接に連携



テーブルワークフローの実現

放送施設や制作会社の環境においてはテーブルベースのワークフローに打って変わってメディアサーバーが導入されることにより、コンテンツプレイアウトに関連する生産性の著しい向上を見えています。しかし、常に増加の一途をたどる膨大な量の高ビットレートメディアのライブラリから、必要なコンテンツを閲覧する必要は常にあるため、プレイアウトサーバーに不必要な負担をかける結果にもなっています。VHSカセットのような安価なメディアにコピーを取ればメディア閲覧のコストを軽減することはできますが、キャプチャが終わったコンテンツをリアルタイムでテーブルにコピーしていく必要が生じます。ProBrowseプロキシ生成・管理システムでは、放送業者が大容量メディアサーバーが持つ制作上のすべてのメリットに加えて、低解像度メディアをプレビュー、クリップ選択、調査、承認のために簡単に素早くアクセスできるワークフロー上のメリットを享受できます。

生産性を著しく向上

MAS上で作動するProBrowseは、SpectrumやMediaGridシリーズのサーバーやストレージとシームレスに連携し、それらのシステムに保存されたコンテンツを、ネットワーク上のコンピュータから標準的なウェブブラウザを使用して表示させることができます。ProBrowseではプロキシが自動的に生成されるため、ベースバンドやトランスポートストリーム、FTPなど、施設に既存のインジェストプロセスを利用して閲覧機能を導入できます。ProBrowseを利用すると、作家や編集者はインジェスト中にもプロキシにアクセスすることができ、フレーム単位でイン・アウトポイントを書き込み、仮想および物理サブクリップを作成できます。そこで行なった決定は、すべて高解像度コンテンツにも即時に同期されます。承認担当者はコンテンツリンクをEメールで受信し、席を移動することなく内容を確認できるため、運用をさらに合理化することができます。

ショット選択とEDL生成

ProBrowseはまた、プロキシコンテンツを利用してショット選択リストを作成すると共に、ノンリニアエディタに直接エクスポートできるEDLを生成することもできます。ホットキーを使用して、コンテンツに素早くアクセスしたり、必要なショットに印を付けたり、EDLに追加したりできます。Final Cut Proと一緒に利用すると、このEDLは当該プロジェクトの映像ビンやタイムラインに自動入力できます。Spectrum、MediaGrid、MediaDeckに保存されているコンテンツならどれでも、クリップを直接プレーヤ画面にドラッグアンドドロップするだけで、新たな構成を作成することができます。保存してエクスポートする前にリアルタイムでプレビューできるため、正しいショットができていることを確認できます。



いかなる環境にも適合できる柔軟性

ProBrowseプロキシ生成・管理システムは、QuickTime®やMXFを利用したHDやSDの保存メディアなど、すべての標準的映像形式に対応します。ProBrowseはその場所を問わず、複数のサーバーやストレージシステムにまたがって導入できるため、企業全体でのメディア閲覧に最適なソリューションです。ProBrowseシステムは新規のSpectrumに合わせて設定することも、既存のオートメーションシステムやオンエア設備に追加することも可能です。また、プロキシのストレージも、MASの拡張オプションにするか、MediaGrid自体に保存するかを柔軟に選ぶことができ、ワークフローに適合するトポロジを選択できます。

コンテンツの掌握

ProBrowseは標準的なウェブブラウザを使用して、社内の権限のある人なら誰でもアクセスすることができます。管理者は各ユーザーの役割を決定できます。プロキシの作成タイミングや方法、ジョブ管理やサムネイルおよび低解像度映像表示を設定できるツールを活用して、企業内のすべてのコンテンツを可視化することができます。Spectrum、MediaGrid、ProBrowseを使用して、放送事業者は企業内のメディアアセットの生産性と柔軟性を活用することができます。さらに、ProBrowseは施設内の様々なストレージシステムに分散されている、クリップのコピーや派生物を特定することができ、それらをメディア管理のために単一の画面に表示させることができます。

